

乳酸菌用寒天培地（混釈用寒天培地）

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

この寒天培地は、選択的に乳酸菌を迅速に検出できるようにしたものです。酵母を含むその他の微生物は各種抑制剤と低 pH により増殖が抑制されています。

2. 概要

乳酸菌は、発酵によって乳酸を産生する細菌で発酵食品や生体においては有用とされますが、醸造業界においては乳酸菌が雑菌として混入する事が問題となります。乳酸菌によって汚染された場合、乳酸による酸敗や菌体による濁り、また特有の臭気による品質低下は避けられません。

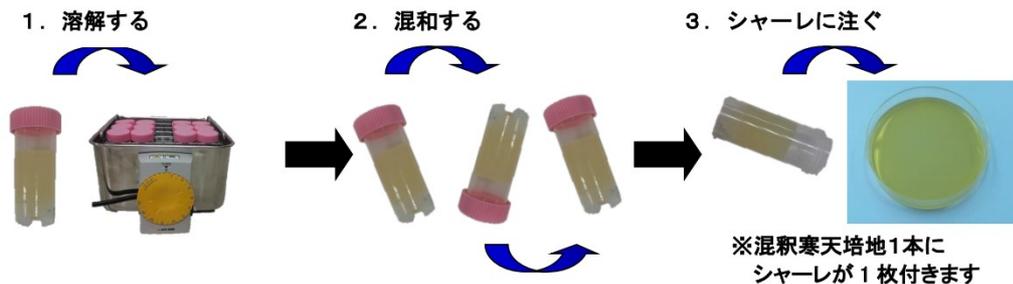
3. 使用方法

3-1 95℃程度で30分ほど湯せんします。

3-2 湯せん後、45℃～50℃の培地溶液に試料を添加して混和し、これをシャーレに静かに流し入れます。

（シャーレに試料を入れておいて、湯せんした培地溶液を流し込んでも、混釈できます。）

※ 使用法（お徳用シャーレ付ACM）



※ お徳用 ACM のひと箱に湯せん用フロッターがサービスで添付されています。



※ *L. fructivorans* の検出には、31～32℃培養を、その他の乳酸菌の場合は 35℃培養をお勧めします。

4. 判定基準

寒天培地に形成されているコロニーは、乳酸菌と判定できます。もし、酵母菌のコロニーが形成された場合でも、極端に微小であるため、乳酸菌コロニーとの区別は容易です。

5. 培地の保管方法

培地は、常温の暗所で保管して下さい。

6. 試験成績書

（以下のページは、培地性能参考資料）

試験成績書

製品番号 ACM003

製品名 乳酸菌用寒天培地
(混釈寒天培地)

製造番号 B09CC

使用期限 2022年5月7日



マイクロバイオ株式会社
品質管理部

<性状試験>

試験項目	規格	結果
外観	淡黄茶色な培地 異物を認めない	適合
pH	5.3±0.2	適合
無菌試験	菌の発育を認めない (25±2°C 7日間)	適合

<培養試験>

試験菌株	発育	培養温度	培養時間
<i>Lactobacillus fructivorans</i> NBRC 13118	良好	31°C	96時間
<i>Lactobacillus brevis</i> 野生株	良好	35°C	96時間
<i>Saccharomyces cerevisiae</i> NBRC 9763	抑制	35°C	96時間

良好: 有効性が確認された前ロットと同様の回収及び発育状態である。
抑制: 有効性が確認された前ロットと同様に菌の発育が認められない。

<合否判定>

総合判定日	2022年 2月16日	総合判定	合格
-------	-------------	------	----

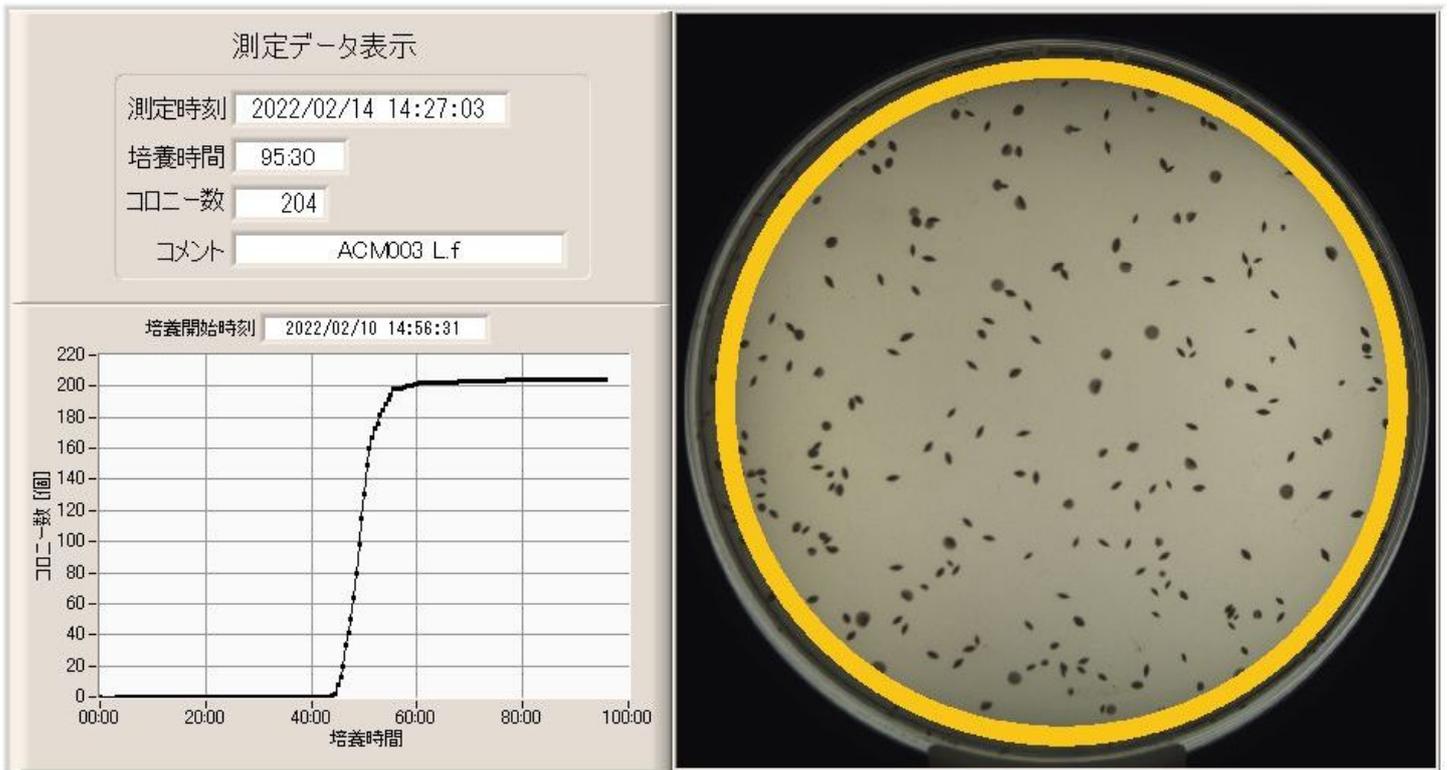


図1 . 標準菌株 *Lactobacillus fructivorans* NBRC 13118 の発育画像

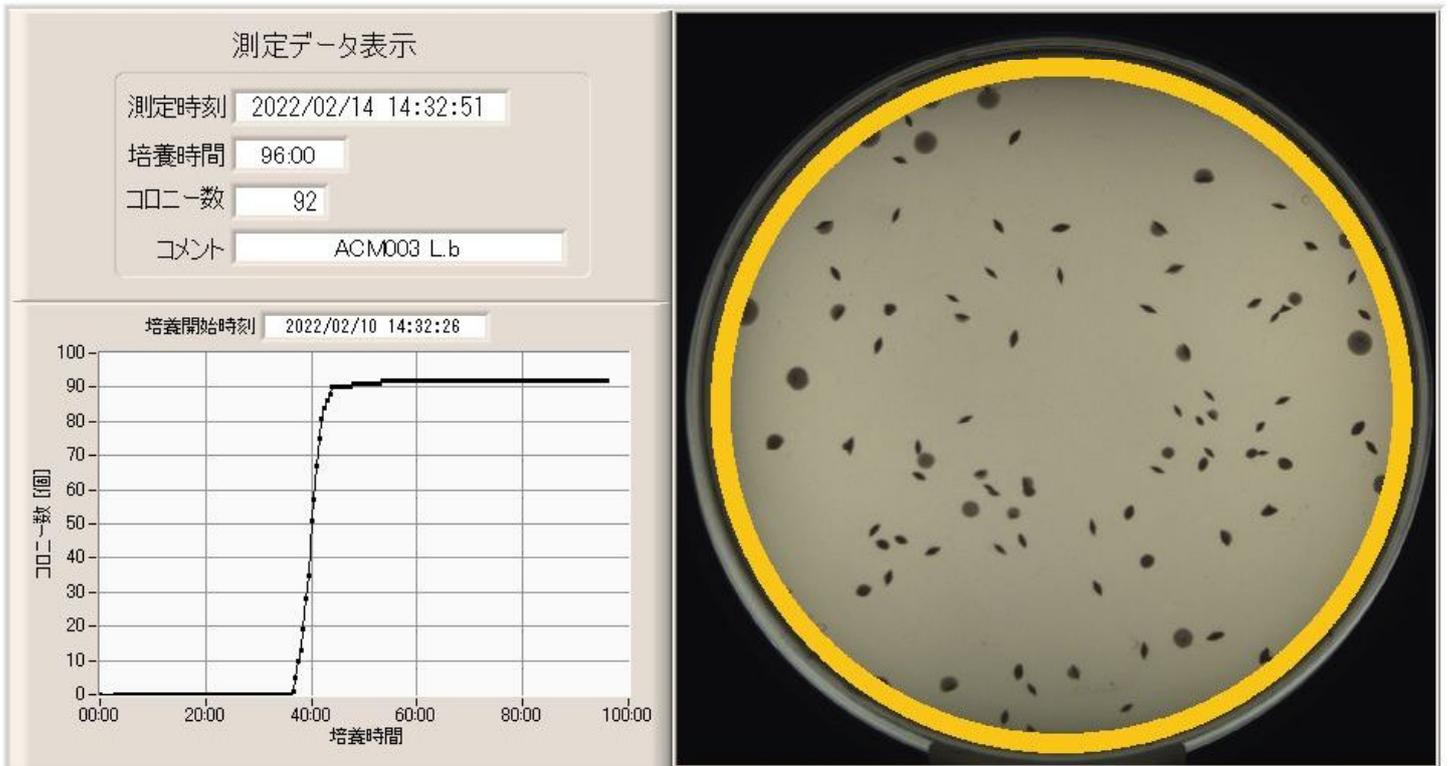


図2 . 標準菌株 *Lactobacillus brevis* 野生株 の発育画像

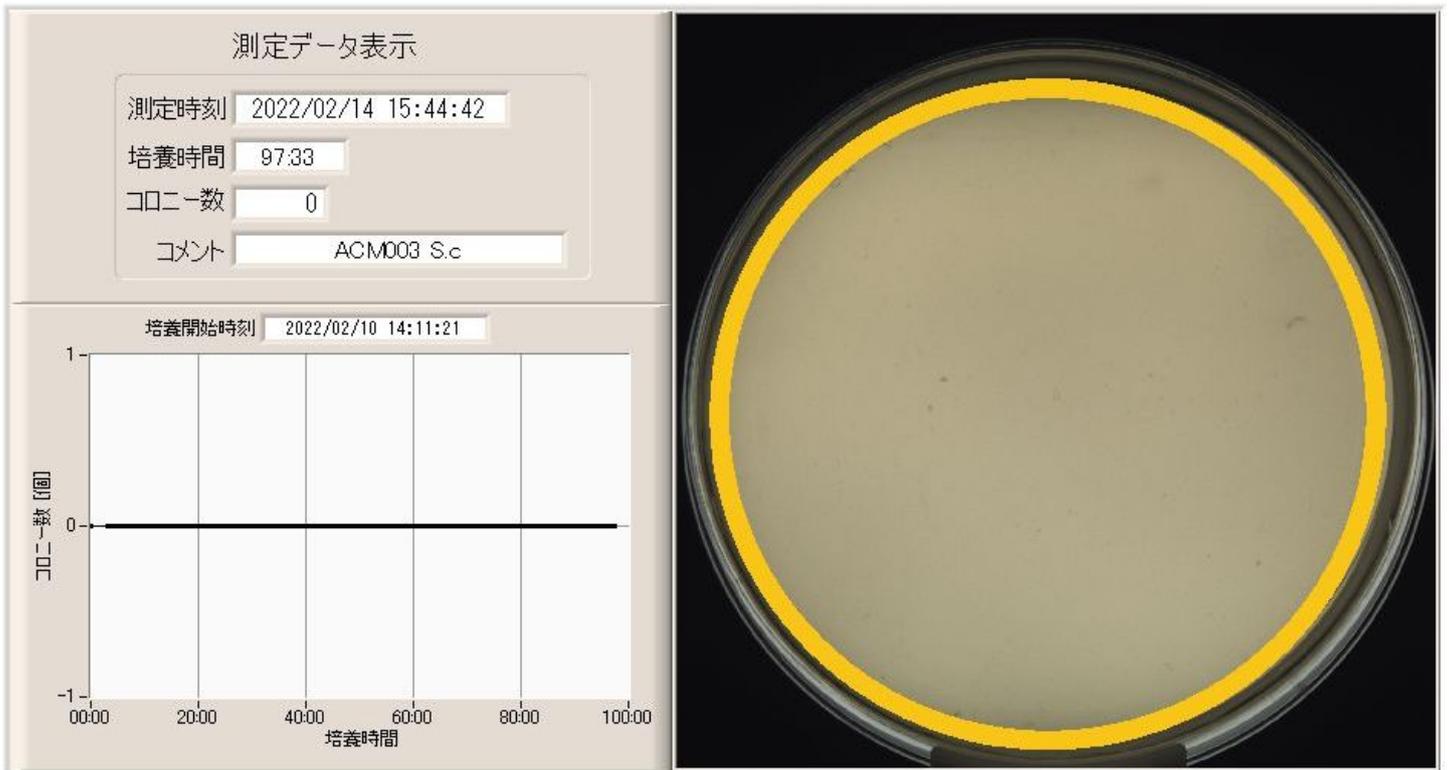


図3. 標準菌株 *Saccharomyces cerevisiae* NBRC 9763 の発育画像